横浜市

梅毒 知ってますか?

梅毒は、性感染症の一つで、キスやオーラルセックスでもうつることがあります。
横浜市の梅毒感染者届出※では、男性の7～8割が20～40代、女性の4～5割が20代でした。

※2018～2022年感染症発生動向調査事業年報による

どんな病気?

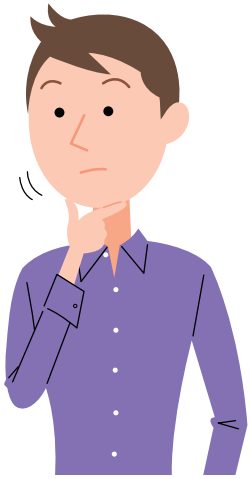
◎ 最初は症状がありません。できものやただれ、発疹など症状は様々で、通常は痛みや痒みを伴いません。

◎ 症状が自然に消えることがありますが、治療せずに放置すると、心臓や血管、脳などに重大な合併症を起こすことがあります。

◎ 妊娠中に感染すると、早産や死産となったり、赤ちゃんに重い障害が出ることがあります(先天梅毒)。

◎ 以前にかかったことがあっても、感染することがあります。

◎ 症状がなくても、感染していると性行為等により他人へ感染させる可能性があります。



- 梅毒は、早期に治療すれば治る病気です。
- 血液検査で感染の有無がわかります。パートナーも一緒に検査を受けましょう。
- コンドームの適切な使用で、感染リスクを減らせますが、完全には防げません。

無料・匿名

横浜市ではHIV検査と同時に梅毒検査を実施しています。

※検査は感染の可能性のあった時から6週以上経過している必要があります。

詳しくはこちら　横浜市保健所　エイズ

発行：横浜市医療局健康安全課
TEL：045-671-2729　FAX：045-664-7296　令和3年10月発行
令和5年9月改訂